



2024年5月8日

各 位

上場会社名 **株式会社 日 伝**
代 表 者 代表取締役 社長執行役員 福家 利一
(コード番号 9902 東証プライム)
問合せ先責任者 取締役 常務執行役員 管理本部長 寒川 睦志
(TEL 06-7637-7000)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応に関するお知らせ

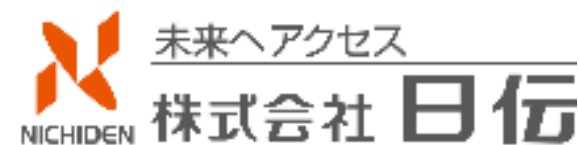
当社は、本日開催の取締役会において、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて、当社の現状を分析し、今後の取組み方針について決議いたしましたので、お知らせいたします。

内容につきましては、添付資料をご参照ください。

以 上

資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けた対応について

2024年5月8日(水)



証券コード：9902

現状分析と課題認識

決算年月		2019年3月	2020年3月	2021年3月	2022年3月	2023年3月	2024年3月
売上高	(百万円)	124,604	112,334	102,751	123,964	131,609	126,912
経常利益	(百万円)	6,774	5,382	4,176	6,082	6,756	6,431
当期純利益	(百万円)	4,548	3,467	2,841	4,245	4,967	4,674
自己資本比率	(%)	72.1	74.6	71.7	69.1	70.3	69.1
BPS	(円)	2,404.85	2,442.16	2,557.49	2,652.83	2,748.72	2,900.78
ROE	(%)	6.1	4.6	3.6	5.2	5.9	5.4
PER	(倍)	10.9	19.2	24.2	16.0	12.0	17.5
PBR	(倍)	0.67	0.87	0.86	0.81	0.69	0.92
配当性向	(%)	31.1	40.8	44.2	48.1	41.1	42.8
期末株価	(円)	1,616	2,125	2,190	2,157	1,903	2,656

現状分析と課題認識

<分析>

- ① R O E は上昇傾向にあり、2024 年 3 月期は 5.4%となり 3 期連続 5%台でかつ資本コストを上回る水準であったものの 8%には届いていない。
- ② P B R については、2024年3月期は 1 倍近くに改善しているものの直近 6 期を通じて 1 倍を下回っている状況。
- ③ P E R については2024年3月期はプライム市場平均をやや下回る水準である。

<課題認識>

売上総利益率の改善による収益力の向上が見られるものの、R O E 改善に与えるボリューム感が乏しい状況となっており、収益力の更なる向上のみならず生産性や効率性の向上に加え、資本効率に改善の余地があるものと考えます。

また、投資家の皆さまに、当社の中期経営計画における成長戦略につき、十分な理解・評価を得られていないことも要因であると認識しております。

具体的な取り組みについて

前述の現状分析と課題認識を踏まえて今後以下の施策を進めてまいります。

| 第4次中期経営計画『**New Dedication 2026**』
の推進

株主還元の充実・資本効率の向上

株主・投資家との対話の活性化

具体的な取り組みについて

第4次中期経営計画での「市場戦略」「コーポレート戦略」に取り組むことでROEについては目標値の8%を目指しつつ資本コストを上回る収益力の確保をいたします。また、株主還元の検討、株主・投資家との対話を積極的に努めることでPBR1倍以上を目指します。

課題認識

ROE改善

PBR向上

第4次中期経営計画『New Dedication 2026』の推進

株主還元の充実・資本効率の向上
株主・投資家との対話の活性化

市場評価の向上

企業価値の向上

貢献価値の向上

第4次中期経営計画の推進

『New Dedication 2026』 ～新たな貢献へ～



第4次中期経営計画の推進

『New Dedication 2026』 ～新たな貢献へ～

	2024年度目標	2025年度目標	2026年度目標
連結売上高	1,340億円	1,400億円	1,500億円
連結営業利益	61億円	58億円	66億円
連結経常利益	65億円	62億円	70億円
連結当期純利益	47億円	47億円	50億円

株主還元の充実・資本効率の向上

自己株式の取得・消却

企業環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行と、株主還元の充実及び資本効率の向上を図るため以下のとおり実施いたします。

株式の総数：100万株（上限）

価格の総額：30億円（上限）

（発行済み株式数（自己株式を除く）に対する割合3.29%）

期間：2024年5月9日～2025年3月24日

消却株式数：上記により取得した自己株式の全数

消却予定日：2025年3月31日

株主還元の充実・資本効率の向上

中間配当の実施

株主の皆様への利益還元の機会を充実させるため、今期より中間配当の実施をいたします。

	第2四半期末	期 末	合 計
2024年3月期（実績）	—	65円	65円
2025年3月期（予想）	30円	35円	65円

株主・投資家との対話の活性化

投資家との対話

機関投資家との個別面談や会社説明会など、ステークホルダーとの対話の機会を増やし、成長戦略への理解を図るとともに、対話を通じて収集したご意見、ご関心・ご懸念事項についても内容に応じて当社の経営層へのフィードバックを行うことで経営の改善に活かします。

情報開示の拡充

財務情報や経営戦略、非財務情報の積極的な開示、統合報告書の作成やウェブサイトの内容充実、英文開示など、ステークホルダーの期待に応える情報開示の拡充を進めます。

株主・投資家との対話の活性化

株主・投資家との価値共有の推進

取締役に対する中長期的な企業価値の持続的な向上を図るインセンティブを強化するため、譲渡制限付株式報酬制度を導入。また、従業員持株会制度（補助率アップ）を拡充することにより株主・投資家との価値共有を推進します。

以上

免責事項及び将来見通しに関する注意事項

本資料で提供している情報に関しては万全を期しておりますが、その情報の正確性、確実性及び公正性を保証するものではなく、当社は掲載された情報またはデータの誤りまたは不正確に関しまして、一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。

本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。したがって投資に関する決定は本資料のみに依拠されるのではなく、ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

本資料の内容に関する一切の権利は、当社に帰属しておりますので複写及び無断転載はご遠慮ください。